

新宮山彦ぐるーぶ第2333回

池郷林道の整備と行仙宿

◇実施日 11月12日(火) 晴

◇参加者 沖崎吉信、畑林秀味、湯川一郎、阪口雄二、梶野照雄、
村吉光夫、杉本和巳 7名

村吉さんが12日に持経宿に泊まって平治宿まで往復するというので、
便乗する形で池郷林道の整備に向かった。
池郷林道に続く村道部分は工事のため、午前9時以後は通行できな
い。



ゲート手前の土砂除去

除去後

溝を埋める

午前8時半、スポーツ公園の駐車場に集まり、沖崎車と阪口車、それに
村吉車の3台で出発した。村道の工事は池原からすぐのところ、法面

にネットを張っているようだが、作業員は誰もいなかった。林道ゲートま
で落ち葉は多いが落石は殆どなかった。ゲート手前の、以前から度々土
砂が流れ出している所が大量の土砂で覆われていた。車がかろうじて通
過できる幅が掘られていて、5日に村吉さんが奮闘したことが覗える。
ゲート前に車を止め、ジョレンを持って土砂の除去に向かった。
15分ほど除去を続け、2mほどの幅で路面が見える状態になった。
ゲートから上は、ほぼ通常の状態だったが、途中の3ヶ所で水流による
深い溝(15cmほど)があった。車は3台とも大きなタイヤだったのでゆっ
くり通過したが、溝が長い一ヶ所は総出で溝を埋めた。残りの2ヶ所は
帰りに処置することにした。
ゲートから1時間で持経宿に着いた。2時間を覚悟していたが、思いの
ほか早かった。



樋の落ち葉掃除

本日の参加者

持経宿の水場

持経宿に着いて、平治宿トイレ改修用の材木やマキ材などを降ろし、小
屋の周りを掃除する。阪口君と畑林さんは屋根に上がって樋の落ち葉

を掃除。ホウキを使っていたのでブロアーを出してきて手渡した。ホウキで掃除するより短時間で樋の落ち葉は無くなった。小屋前に積もった落ち葉もブロアーで吹き飛ばした。小屋の前は風が弱いようで、行仙宿の何倍もの落ち葉が溜まっていた。掃除が一段落したので、水場の確認に向かった。ホースからの水は少し少ない。取水口まで登って落ち葉や小石を取り除いた。小屋に戻って下山の準備をする。村道の工事で通行できる時間が12時から13時までの一時間、その後は17時まで通行止めとなる。12時過ぎに工事現場を通過できるよう、午前11時10分に小屋を離れた。帰りに深く掘れた溝を2ヶ所で埋め、12時5分に工事現場を通過した。朝はゴンドラ車一台しか停まっていなかったが、6台ほどが停車していて工事は行われているようだ。

スポーツ公園で昼食を摂り、梶野、杉本の2名で行仙宿に向かった。一人で行くつもりだったが、行仙宿に行つたことがない杉本さんが「どんなところか見たい」と、一緒に行くことになった。



脚に挟んだレンガ



接続は良好



外気温は15℃

登山口に着き、杉本さんをモノレールに乗せて終点に向かう。終点で地下足袋を履いた女性登山者が降りてきた。トンネル西口から登って笠捨山に行つてきたようだ。過去に熊野修験と一緒に歩いたこともあるらしい。終点から小屋までの間で拡幅工事や橋台の説明をしながら歩いた。小屋に着くと男女の登山者が通過、登山口の手前に駐車して笠捨山に行つたようだ。

小屋でストーブの煙突調整を行う。発電機を動かしてディスクグラインダーで3cmほど煙突を切り、持ってきた厚さ2.8cmの小さなレンガをストーブの脚に挟んだ。煙突の切断は適当に行つたが、予定通りストーブと煙突はうまく接続できた。今後は脚に挟んだレンガを取り除くと煙突は簡単に外れる。テストにマキを入れて火をつけてみた。そこに男1女2の登山者が現れた。男性は、会つたことはないがネットで瀧本さんと接触がある、と話していた。



丸太を引き上げる

引き上げ完了

続いて7日に切り倒して5mの丸太にした木を登山道まで引き上げる。

先日と同じようにプラーを使ってすこしずつ引いていくが、遅々として進まない。杉本さんはプラーを持っているが使ったことはないそうで、プラーのレバーを動かしてみる。いろいろな経験をされているので、心強い助けになった。引き揚げ作業もやはり1時間かかった。

登山道の真つ直ぐな場所まで丸太を移動することができたので作業を終え下山した。

今回は杉本さんの働きもあつて、目的を達成することができた。ありがとうございました。

(記：梶野)

行動タイム

08：30 スポーツ公園→08：45 池郷林道ゲート 10：00→10：02 持経宿
11：10→12：08 スポーツ公園 12：40→13：10 補給路登山口→13：38 行仙宿
15：45 コジマハウス→16：01 補給路登山口